

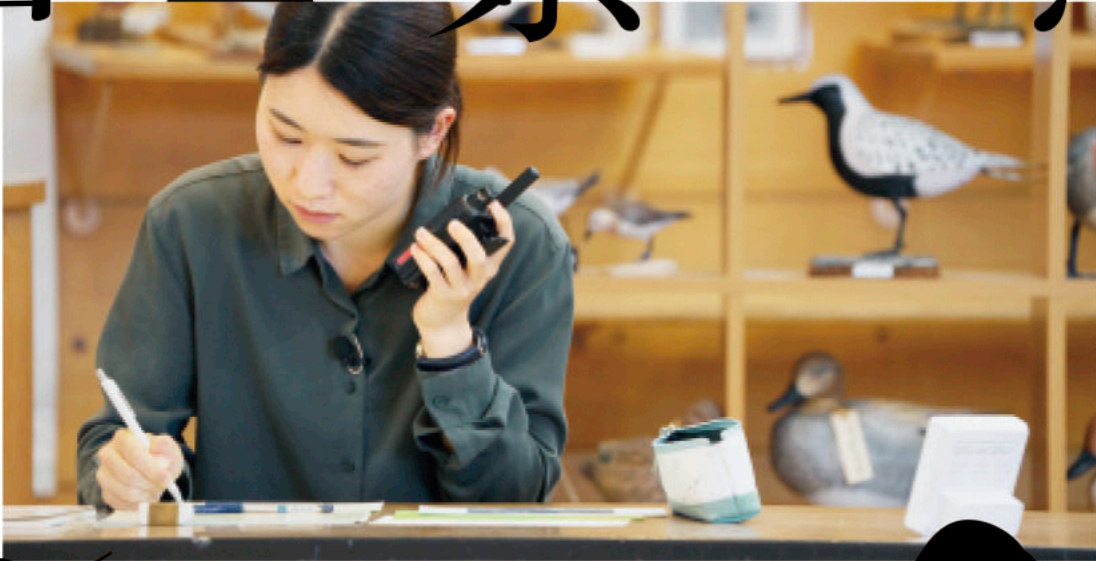
つくりかけラボ 13

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〔休館日〕第1月曜日、12月25日(月)、12月29日(金)〜1月3日(水)
〔開館時間〕10時〜18時(金・土曜日は20時まで)
〔観覧料〕無料 一会場「千葉市美術館4階 子ごもアトリエ」
〔主催〕千葉市美術館 一協力「習志野市谷津干潟自然観察センター」



野鳥観察の日



黒田菜月

2023 10 / 28 土
2024 1 / 28 日

※会期中、会場内メンテナンス作業を予定しています。作業日・時間帯についてはホームページでお知らせいたします。なお、作業中は室外からご覧いただけます。



アーティストワークショップ

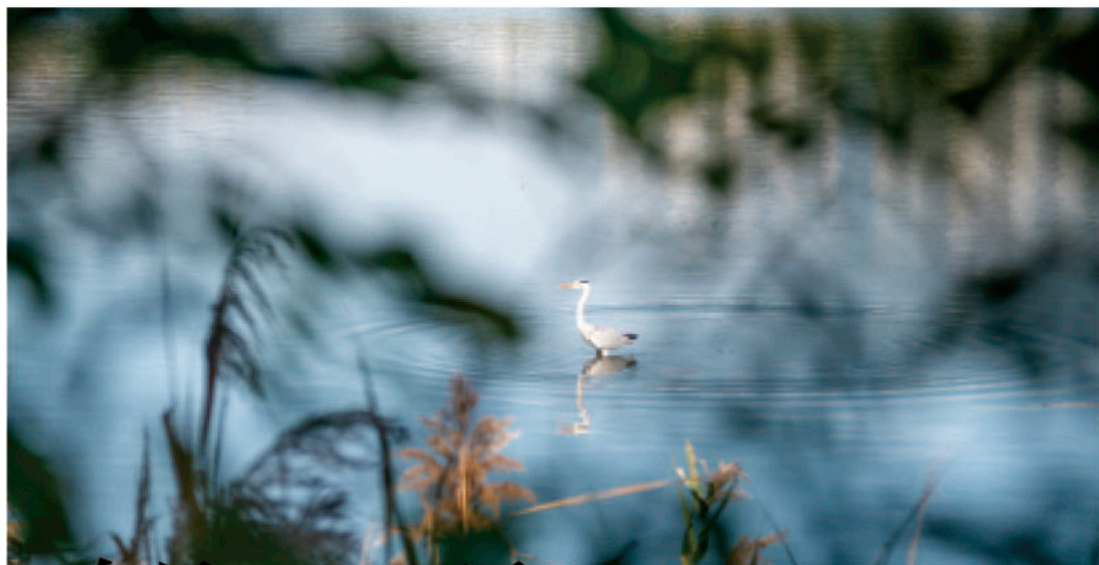
会期中、黒田さんによるワークショップを開催します。プロジェクトを土台にして、野鳥観察に出かけたり、ディスカッションをしたり、さまざまな方向から「野鳥観察」や「見る」ことについて深掘りしてみましょう。
(スケジュール)10月29日(日)、11月12日(日)、11月26日(日)、1月14日(日)、1月28日(日)

※日程が変更になる場合があります。詳しい内容と参加方法についてはホームページをご確認ください。

つくりかけラボ 13

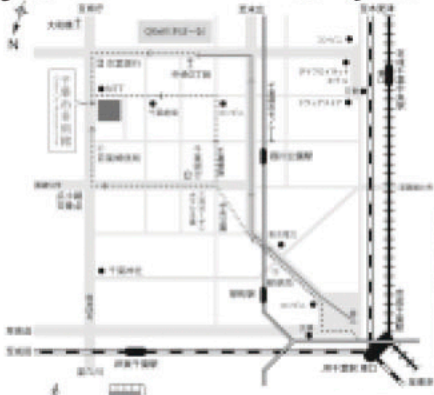
第13弾となる今回は、写真家の黒田菜月さんをお迎えし、野鳥観察をキーワードに「見る」ことを考えるプロジェクトを開催します。プロジェクトのプレイベントとして、2023年5月、習志野市谷津干潟自然観察センターでワークショップを実施しました。ワークショップは、野鳥観察を「観察係」と「記録係」に分けて行うという、少し変わった形態で進められました。おたがいをつなぐのは、トランシーバーから聞こえる声のみ。かぎられた状況での野鳥観察は、視覚をわかちあう難しさや喜びを浮かび上がらせました。プロジェクトの会場には、そのようすをおさめた映像作品が展示されます。はたして、「見る」というとても身近な行為には、どのような作用や側面があるのでしょうか。会場で、さまざまな鳥を見つめながら、いっしょに考えてみましょう。

「つくりかけラボ」は、「五感でたのしむ」「素材にふれる」「コミュニケーションがはじまる」「いずれかのテーマに沿った公開制作やワークショップを通して空間を作り上げていく、参加・体験型のアーティストプロジェクトです。いつでも誰でも、空間が変化し続けるクリエイティブな「つくりかけ」を楽しみ、アートに関わることができる表現の場です。



野鳥観察

日和



交通案内

- ・JR千葉駅東口から：徒歩約15分／バスのりば7番より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分／千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩5分
- ・京成千葉中央駅東口から：徒歩約10分
- ・東京方面から車では：京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く

※地下に機械式駐車場があります(車高155cmまで)。
※シェアサイクルスポットがあります。

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8
Tel. 043-221-2311(代表)
<https://www.cma-net.jp>

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

くろだ・なつき 1988年神奈川県生まれ。2013年に第8回写真「1_WALL」展でグランプリを受賞。近年は、リサーチやフィールドワーク、ワークショップなどを交えた映像作品、写真作品を手がける。また、公立動物園の周年企画に携わったり、子育てと制作のあり方を探る座談会を開催したりなど、幅広い活動を行っている。おもなグループ展に、企画も担当した2019年「ごうぶつえんの目」(横浜市立金沢動物園)など。おもな個展に、2014年「けはいをひめてる」(ガーデン・ガーデン)、2017年「わたしの腕を掴む人」(銀座ニコンサロン、大阪ニコンサロン)、2021年「aMプロジェクト2020-2021『約束の凝集』vol. 3 黒田菜月|写真が始まる」(gallery aM)、2022年「仙台写真月間2022 動物園で見つめる先に、」(SARP仙台アーティストランプレイス)などがある。

黒田菜月



※作家滞在スケジュールやイベント、ワークショップなどの詳細はホームページをご覧ください。※館内にて新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行っております。体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。※内容やイベントが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

